

# 多目的認証端末

## Fit Terminal

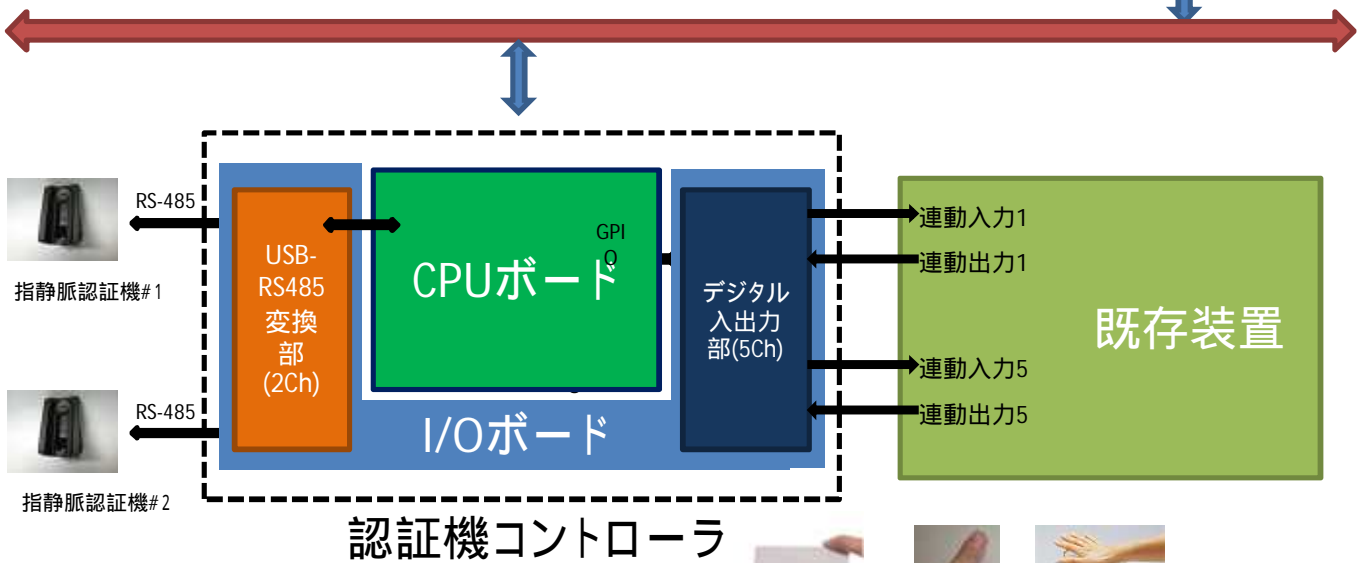
(multi-purpose biometric authentication terminal)  
certification terminal 認証端末

装置はCPUボードおよび、I/Oボードとして指静脈認証機用I/Fで構成されます。  
デジタル入出力部は、最大10本の入出力持っています。  
入力・出力の信号の向きは自由に設定できます。  
下記の例では、入出力共に5本ずつとなっています。  
この信号を、既存装置の仕様に合わせた回路にカスタマイズ出来ます。

管理用PC



LAN



指静脈以外、あらゆる認証端末での対応が可能です



### ハードウェア仕様

CPUボード: AAEON社 Model番号 GENE-1270B  
RS-232Cポート メンテナンス用コンソール接続ポート  
LANポート ネットワーク

I/Oボード: オリジナル開発基板

USBポート	CPUボード接続I/F
RS-485 × 2	指静脈認証装置I/F
デジタル入出力 × 10	既存装置制御盤連動信号(リレースイッチなど)

### ソフトウェア仕様

OS :	Linux Kernel 2.6.22.3.
Boot Loader:	u-boot-1.1.6.
Web Server:	thttpd
HTML scripting:	PHP
Application:	装置信号制御、運用ログ収集、及び指静脈認証、登録、削除、転送機能

## 認証装置の特徴

認証は独立したハードウェアで行いますので、OSなどのシステムには依存しません。既存の装置への組み込みも容易に行うことができますので、認証機能を持たない装置でも低コストで高度なセキュリティ機能を装備することができます。認証結果は接点操作などのハードウェアに作用することも、ログ通知などのソフトウェアシステムと連動することも、どちらも可能です。Webサーバー機能を持っており、この装置のコントロールは任意のPCから一般的なWebブラウザで行うことができますので、専用のアプリケーションをPCにインストールする必要はありません。指静脈認証は、水濡れや温度などの影響を受けにくく、高精度な認証が可能です。装置1台で2個の指静脈認証機を同時に管理できます。指静脈認証機には1000人まで登録可能です。記憶装置はすべて半導体メモリー化されて可動部品がないため、大変堅牢です。

## 運用の流れ

### 1. 通常運用

1. 作業者は指静脈認証機で本人認証をします。
2. 認証が成功したら認証機コントローラは履歴を記録し、既存機制御盤へ認証完了信号を送ります。
3. 既存機制御盤はシーケンスコントロールに従って稼働し、正常完了で連動出力します。
4. 認証機コントローラは、既存機制御盤からの連動出力を受け取ると履歴を記録します。
5. 1-5の繰り返しにより通常運用を行います。
6. 認証の失敗などエラー時情報の履歴は、パラメータによって出力の可否を制御できます。

### 2. 管理運用

1. 管理者は管理用PCからWebブラウザによって認証機コントローラを操作します。
2. ブラウザーによって操作できることは以下の通りです。
  - 各種の動作パラメータ設定
  - 作業者情報など、マスターファイルの配信
  - 静脈データの登録、削除、転送
  - 運用履歴(ログ)情報の閲覧、取り込み
3. 指静脈登録時は、ノートPCなどを既存装置近辺に持ち込むことで、登録タイミングを画面指示出来ます。(無線LAN環境があればより快適に運用できます)
4. 解析用上位アプリケーションは、ブラウザで取込んだ履歴情報ファイルを利用することができます。



機器仕様

登録人数: 1,000人 (オプションで最大10,000人まで対応)  
認証時間: 1.1秒typ (1,000人登録時 1:N認証)  
動作環境: 温度 -15 ° ~ 50 ° C  
周囲の明るさ 0 ~ 20,000 Lux  
電源: 5V 200mA (typ)

指静脈認証モジュール  
「FDV - 560」

今回の御案内は、上記「指静脈認証」にて御案内しておりますが、他の認証方法でも可能であります。使用状況に応じた適切な認証方法を御提案します。例: 手のひら認証etc